

# 藻類

## THE BULLETIN OF JAPANESE SOCIETY OF PHYCOLOGY

昭和47年8月 August 1972

### 目次

南西諸島産イワノカワ科 Squamariaceae の解剖分類学的研究 (4) — <i>Peyssonnelia conchicola</i> PICC. & GRUN., 及び <i>P. rubra</i> var. <i>orientalis</i> WEBER VAN BOSSE について— ..... 野沢 ユリ子	41
Notes on the distribution of <i>Pleuroblepharis</i> (Bonnemaisoniaceae) and the status of <i>Odonthalia japonica</i> OKAMURA ..... MICHAEL J. WYNNE	48
ヌメハノリ <i>Delesseria violacea</i> (HARVEY) KYLIN について ..... 三上 日出夫	54
Fucales ノート (6) ヒバマタ卵の発生形態変異 ..... 中沢 信午	59
ヤバネモクの幼胚について ..... 大森 長朗	64
キッコウグサ <i>Dictyosphaeria cavernosa</i> の遊走細胞形成について ..... 榎本幸人・廣瀬弘幸	67
<i>Petrocelis</i> sp. 室蘭に産す ..... 船野 隆	72
学会録事 .....	75

日本藻類学会

JAPANESE SOCIETY OF PHYCOLOGY

## 日本藻類学会々則

第1条 本会は日本藻類学会と称する。

第2条 本会は藻学の進歩普及を図り、併せて会員相互の連絡並に親睦を図ることを目的とする。

第3条 本会は前条の目的を達するために次の事業を行う。

1. 総会の開催（年1回）
2. 藻類に関する研究会、講習会、採集会等の開催
3. 定期刊行物の発刊
4. その他前条の目的を達するために必要な事業

第4条 本会の事務所は会長が適当と認める場所におく。

第5条 本会の事業年度は4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

第6条 会員は次の3種とする。

1. 普通会員（藻類に関心をもち、本会の趣旨に賛同する個人又は団体で、役員会の承認するもの）。
2. 名誉会員（藻学の発達に貢献があり、本会の趣旨に賛同する個人で、役員会の推薦するもの）。
3. 特別会員（本会の趣旨に賛同し、本会の発展に特に寄与した個人又は団体で、役員会の推薦するもの）。

第7条 本会に入会するには、住所、氏名(団体名)、職業を記入した入会申込書を会長に差出すものとする。

第8条 会員は毎年会費1200円を前納するものとする。但し、名誉会員（次条に定める名誉会長を含む）及び特別会員は会費を要しない。外国会員の会費は4.5米ドルとする。

第9条 本会には次の役員を置く。

会長 1名。 幹事 若干名。 評議員 若干名。

役員の任期は2ケ年とし重任することが出来る。但し、会長と評議員は引続き3期選出されることは出来ない。

役員選出の規定は別に定める。（付則第1条～第4条）

本会に名誉会長を置くことが出来る。

第10条 会長は会を代表し、会務の全体を統べる。幹事は会長の意を受けて日常の会務を行う。

第11条 評議員は評議員会を構成し、会の要務に関し会長の諮問にあずかる。評議員会は会長が招集し、また文書をもって、これに代えることが出来る。

第12条 本会は定期刊行物「藻類」を年3回刊行し、会員に無料で頒布する。

（付 則）

第1条 会長は国内在住の全会員の投票により、会員の互選で定める（その際評議員会は参考のため若干名の候補者を推薦することが出来る）。幹事は会長が会員中よりこれを指名委嘱する。

第2条 評議員の選出は次の二方法による。

1. 各地区別に会員中より選出される。その定員は各地区1名とし、会員数が50名を越える地区では50名までごとに1名を加える。
2. 総会において会長が会員中より若干名を推薦する。但し、その数は全評議員の1/3を越えることは出来ない。

地区割は次の7地区とする。

北海道地区。東北地区。関東地区（新潟、長野、山梨を含む）。中部地区（三重を含む）。

近畿地区。中国・四国地区。九州地区（沖縄を含む）。

第3条 会長及び幹事は評議員を兼任することは出来ない。

第4条 会長および地区選出の評議員に欠員を生じた場合は、前任者の残余期間次点者をもって充当する。

第5条 会員がバックナンバーを求めるときは各巻1200円、分冊の場合は各号400円とし、非会員の予約購読料は各号600円とする。

第6条 本会則は昭和46年4月1日より施行する。

日本藻類学会 昭和47年度（創立20周年記念）大会についてのお知らせ

日本藻類学会昭和47年度大会は創立20周年を記念して、下記のスケジュールによって、記念講演・総会・懇親会を行ないます。

参加希望者は9月25日までに 〒514-11 三重県久居市幸町1193 谷口 森後 (Tel. 05925-5-2406) まで連絡して下さい。とくに懇親会は会場の都合もありますので変更なきよう出欠をお知らせ下さい。

1. 期 日：昭和47年10月11日（水）
2. 場 所：名古屋市千種区不老町 名古屋大学教養部3階植物学会講演会場
3. スケジュール

評議員会 10：00—12：00

記念講演 13：00—16：30

挨拶（日本藻類学会20年の歩み） 廣瀬 弘幸

中原 紘之（京 大・農）褐藻類の培養研究による藻類学への貢献

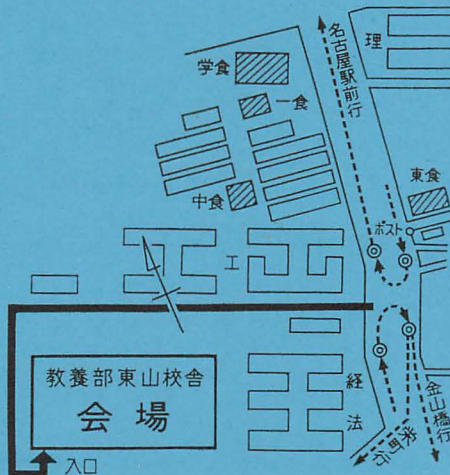
植田利喜造（東教大・理）電子顕微鏡観察による藻類学への貢献

黒木 宗尚（北 大・理）日本藻類学界の進歩と日米セミナー

香村 真徳（琉 大・文理）琉球列島の海藻について

総 会 17：00—18：00

懇 親 会（会費 1500円）18：00—20：30



新訂増補新版発行

# 藻類学総説

廣瀬 弘幸著

菊判・口絵5(カラー1)・本文536頁・文献索引99頁 ¥5300.  
挿入図 229・本文 9 ボ横組・極上製・ケース入 送 200.

著者はかねてより本書の改稿を希望されているが、これが出版は時目を要するため、このたびの再版においては、著者の良心の許す範囲、それでも大幅な新訂改稿が行なわれました。いまさら本書の評価を言々する必要のない名著で、専門家の座右に、また初歩から学びたい方にとって最良の入門書であり専門書である。

植物領域における

## 坂口 進著 免疫化学実験法

A 5 判・口絵カラー2・本文126頁・文献索引15頁 ¥1000.  
送 140.

本書は主として植物に関係の初心研究者、学生を対象に、免疫化学法をどのようにして植物の現象の解明に用いるかに主眼を置いて、著者の行なった実験例を基にその基礎的な方法をできるだけ詳細に記述したもので、修得すべき植物への手法の手懸りは本書により充分得られる。

- |        |          |                    |
|--------|----------|--------------------|
| 岡村金太郎著 | 日本海藻誌    | 再版企画中              |
| 猪野 俊平著 | 植物組織学    | B5・728頁<br>¥7800   |
| 中山 包著  | 発芽生理学    | A5・338頁<br>¥1500   |
| 野村 男次著 | レダクトンの化学 | A5・408頁<br>¥2500   |
| 五十嵐彦仁著 | 污水化学総論   | 上巻¥3800<br>下巻¥3800 |

図書目録進呈



## 内田老鶴圃新社

東京都千代田区九段北1-2-1・郵便番号102  
Tel. 東京 (262) 2 8 8 9・振替口座東京6371

## 会員名簿作製についてのお願い

今回あらためて会員名簿を作製することになりました。つきましては、整理上の正確を期するため以下のことに御協力をおねがいします。

下のカード2枚の\*欄に必要事項を御記入の上、当会本部まで折りかえし御返送下さい。

昭和47年 8月25日

切.....リ.....取.....リ.....

No.	<b>日本藻類学会々員カード</b>				地区
普通      名誉      特別					
氏名* (団体名) ローマ字名	.....				雑誌 送先
自宅住所*	郵便番号 (   )				
勤務先* 所在地	.....				
入会年度	昭和      年度より	受付年月日	昭和      年      月      日		
備考					

No.	<b>日本藻類学会々員カード</b>				地区
普通      名誉      特別					
氏名* (団体名) ローマ字名	.....				雑誌 送先
自宅住所*	郵便番号 (   )				
勤務先* 所在地	.....				
入会年度	昭和      年度より	受付年月日	昭和      年      月      日		
備考					

切.....リ.....取.....リ.....

